

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	都市ブランド創造局スポーツ部スポーツ振興課
評価対象期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	曾根臨海運動場	施設類型	目的・機能
	所在地	小倉南区大字曾根3267-2		
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する		
利用料金制		<input type="checkbox"/> 非利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 完全利用料金制 <input type="checkbox"/> インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無		
指定管理者	名 称	株式会社スピナ		
	所在地	八幡東区平野二丁目11番1号		
指定管理業務の内容		1 管理運営に関する業務 ・受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・清掃、警備、建築物保守点検業務 2 その他管理運営業務 ・事業計画書及び収支計画書の提出 ・関係機関との連絡調整 ・地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など		
指定期間		令和3年4月1日～令和7年3月31日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価 レベル	得点																
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		30																
<p>(1) 施設の設置目的の達成</p> <p>① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。</p> <p>② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。</p> <p>③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。</p> <p>④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。</p>	35	3	21																
<p>[評価の理由、要因・原因分析]</p> <p>■【施設利用者数】（単位：円）</p> <table border="1" data-bbox="280 976 1043 1173"> <thead> <tr> <th>利用者数</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運動場</td> <td>15,278</td> <td>27,812</td> <td>29,034</td> </tr> <tr> <td>要求水準</td> <td>40,000</td> <td>40,000</td> <td>40,000</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>41,000</td> <td>42,000</td> <td>43,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ <input type="text"/>・・・評価対象年度</p> <p>周辺の団体への利用広報・営業活動を継続しており、また幼稚園・小学校への遠足の候補地として案内し、利用者増加に努めている。</p> <p>若松・桃園・大谷・的場池の4施設間で連携し、各々の施設で急な日程変更や追加などにも迅速に対応できるように努めている。</p> <p>利用者数は毎年増加傾向にあるが、いずれの対象年度も目標を達成できていない。</p>				利用者数	R3年度	R4年度	R5年度	運動場	15,278	27,812	29,034	要求水準	40,000	40,000	40,000	目標値	41,000	42,000	43,000
利用者数	R3年度	R4年度	R5年度																
運動場	15,278	27,812	29,034																
要求水準	40,000	40,000	40,000																
目標値	41,000	42,000	43,000																
<p>(2) 利用者の満足度</p> <p>① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。</p> <p>② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。</p> <p>③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。</p> <p>④ 利用者への情報提供が十分になされたか。</p> <p>⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。</p>	15	3	9																
<p>[評価の理由、要因・原因分析]</p> <p>■【施設利用満足度】※「とても良かった」「良かった」と回答した割合</p>																			

満足度	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	90,0%	91,0%	92,0%
実績	89.0%	96.8%	87.8%

■【職員対応満足度】※「とても良かった」「良かった」と回答した割合

満足度	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	90,0%	91,0%	92,0%
実績	98.3%	99.0%	93.9%

※ ・・・評価対象年度

利用者と密にコミュニケーションをとり、苦情や要望などは本社管理部門とも連携し、対応を行っている。早急に対応できないものについては、利用者に直接理由や現状を丁寧説明し、理解してもらえよう努めている。

施設内での事故やクレームについては、全スタッフが共有し、誰もが敏速に、より安全で利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。

自社のホームページにおいて、イベントや大会、自主事業等の情報提供を積極的に行っている。しかし、R5年度では前年度と比べ、目標値を下回る結果となっている。

2 効率性の向上等に関する取組み 30 22

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

20	4	16
----	---	----

【評価の理由、要因・原因分析】

■【維持管理経費】（単位：円）

指定管理料	R3年度	R4年度	R5年度
予算	13,200,000	13,200,000	14,724,000
決算	12,507,715	12,129,630	9,539,764

うち光熱水費	R3年度	R4年度	R5年度
予算	1,300,000	1,300,000	1,300,000
決算	888,677	1,280,927	1,260,099

※ ・・・評価対象年度

多角経営の特徴を活かし、可能な限り自社施工を行い、安価で迅速な対応を行っている。

スタッフによる定期的な施設内外パトロールを行い、緊急な修繕を防ぐために、日ごろから施設のメンテナンス、スタッフによる小修繕を徹底して行っている。それにより、

他業者に委託等を行う件数が減ったため、R5年度については当初予定より維持管理経費を大幅に減らすことに成功している。

業務改善提案制度を活用し、スタッフが自ら改善に努める風土を醸成することで、スタッフの資質向上並びに施設を効率的に運用できている。

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。	10	3	6
-------------------------------------	----	---	---

【評価の理由、要因・原因分析】

※ できる限り客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。

【施設使用料収入】(単位：円)

使用料収入	R3年度	R4年度	R5年度
運動場	675,630	725,835	702,870

※ ・・・評価対象年度

平日の利用率アップを目指し、地元の市民センターや近隣幼稚園、小学校などに利用広報・営業活動を行っている。また曾根工業団地周辺企業のレクリエーション活動などの誘致も継続し行っている。

運動場以外の公園施設に関する問い合わせに対しても、丁寧に対応する方針を全スタッフで共有し、公園施設利用者への真摯な対応を通じて、運動場利用者の増加に繋げている。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み 20 / 14

(1) 施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況

① 施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。	10	4	8
② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか(管理コストの水準、研修内容など)。			
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

スタッフ間での情報共有を円滑にするために、日ごろからコミュニケーションを密にとる環境づくりを徹底している。

運動場以外の公園施設利用者の駐車場での事故対応等についても、警察への連絡、交通誘導等、緊急対応を行い、市民の安全確保に努めている。

管理者は、本施設以外に、若松球場、若松運動場、桃園球場、桃園運動場、大谷球場、的場池球場、ひびきコスモス運動場を管理しており、高いグラウンド整備技術を持っている。また、これら施設と連携してグラウンド整備の実技指導を実施し、施設間のグラウンドキーパーの相互協力を強化することで、更なる質の向上に取り組んでいる。

響灘ビオトープと連携し、スタンプラリー「ラブ・バード・ラリー」に協力し、ビオトープやミクニワールドスタジアム北九州とともに、施設にスタンプを設置するなど他施設との連携による利用者増加に取り組んでいる。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など			
① 施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切に実施されているか。	10	3	6
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。			
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			
<p>【評価の理由、要因・原因分析】</p> <p>指定管理者のグループ企業ではコンプライアンス活動を通じて「個人情報取扱い」等を含めた教育の実施やマニュアルの整備を行っており、全スタッフに徹底し、厳正な運営を行っている。</p> <p>施設の公共性・公平性を担保していく為に「条例に基づいた運営」を行い、施設利用団体や個人利用者に対してきめ細かな説明を行っている。</p> <p>安全最優先で施設管理運営を行っており、職場安全パトロールや本部スタッフによる定期的なパトロールの実施、他施設での事故の共有、勉強会等での類似災害・事故未然防止に向けた取組みを行っている。</p>			

【総合評価】

合計得点	66	評価ランク	C
<p>【評価の理由】</p> <p>安心・安全を最優先に、グラウンド環境整備（小石撤去・砂埃防止等）に全スタッフが注力しており、良好なコンディションを維持することができている。</p> <p>利用者の利便性向上に向け、利用者目線での運営を全スタッフが心がけるよう、接客対応の徹底に努めている。</p> <p>多目的グラウンドとしての有効性・利便性を活用すべく、ソフトボール・野球・サッカー・グラウンドゴルフ等の大会誘致活動に加え、ニュースポーツの紹介イベントやスポーツ未実施の人を健康増進活動に導くため、自主事業を積極的に開催し、より多くの人に施設を利用してもらえるように積極的な営業活動を展開した。</p> <p>以上のことから、全スタッフが施設の有効性の向上のため、意欲的に取り組んでいるため、評価ランクはC（66点）と判断した。</p>			

[北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見]

適正に評価されている。

今後も、市と指定管理者と協働で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。

【評価レベル】

評価 レベル	乗 率		評価レベルの考え方
5	100%	良 い	要求水準を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%	↑	要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%		普通
2	40%	↓	要求水準を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

【総合評価】

- A：総合評価の結果、優れていると認められる
(合計得点が80点以上)
- B：総合評価の結果、やや優れていると認められる
(合計得点が70点以上80点未満)
- C：総合評価の結果、適正であると認められる
(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる
(合計得点が50点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
(合計得点が50点未満)